

七、工費
 四三〇、〇〇〇圓
 本工事費 三六七、五〇〇圓
 土地買収
 一〇、一〇〇圓
 物件移轉
 器具機械費
 一、二〇〇圓
 營繕費

雜費 四一、二〇〇圓
 八、使用材料 鐵材 六二四圓
 セメント 一七、四一五袋
 砂利 一、八四八
 砂 一、一六〇
 九、人夫延人員 三三二、二二三

埼玉縣土木課大運動會記

日 東 莞 爾

昭和十五年十月十三日

秋晴れた……

土木職員の合同大運動會だ……課員二百の心は躍つた。

唯も彼もがどれ程今日の日を待望して居た事であらう。

埼玉縣土木課は本年九月緒方新土木課長を迎へた。スポ

ーツマンであり且家族主義を職場に顯現して和衷協同一心となつて減私奉公の誠をつくさんとする同課長の信念は豫て胎動してゐた懇親會開催の機運を速進して懇親と體位向上を主眼とする全土木職員の大運動會の實現となつた。時恰も光輝ある建國二千六百年紀念の年に當り殊に本日は新

日本建設の全國民運動の根幹をなす大政翼賛會の發足を壽

ぐ縣民大會の日であり、且世界史に新時代を劃する日獨伊

三國同盟祝賀の日である。日章旗は各戸に掲げられ慶祝の

氣分が全縣下に充ち溢れてゐる。この佳き日新裝成れる大

宮町氷川公園綜合運動場に我等の運動會は開催された。丘

陵ゆるく起伏する公園には常盤木の中に點々コスモスがこ

ぼれ咲いてゐる。そして今日は休日ので爲か散策者や小學生

の運動會等で園内は殊の外賑つてゐる。午前九時集合命令

が下つた。五百米トラックの中央に整列した一同の頭上に

國旗が高く掲揚された。進行係の號令により

宮城遙拜

權原神宮遙拜

氷川神社遙拜

護國の英靈に對し感謝並出征將兵の武運長久

祈願默禱

が嚴肅に行はれた。次で高井役員（浦和土木事務所長）及

土木課長より本大會開催についての挨拶があつて愈々競技

に入つた。競技種目は

（トラックの部）

1、五十米決勝 四十歳以上一組

2、百米決勝 三十歳以下一組 三十歳以上四十歳

以下三組

3、武裝競走 A B 二組

4、二人三脚 A B C D E 組

5、提灯競走 同

6、泥鰌掴み A B C 組

7、封皮競走 同

8、自轉車遅乗競走 同

9、四百米繼走 十チーム

（フィールドの部）

1、砲丸投 十五名

2、走幅跳 二十一名

3、槍 投 十一名

4、自轉車競走 A B 組

5、圓盤投 六名

6、走高跳 九名

7、棒押 十一名

(野球場庭球場其他の部)

1、野 球 本課對事務所

2、庭 球 七組

3、卓 球 四組

4、相 撲 十名

4、將棋圍碁

の多種多様に亘つたがそれだけに興味も百分であつた。

秋晴れや土木男子の競ひかな

競技の様様を一言に評すれば

スタートの銃聲が快く秋空に響く。ひたむきに選手が走る熱球が飛ぶ珍技珍プレーが續出する。激勵の聲援とわあつといふどよめきが大氣を震はす。愉快此の上もない

これが筆者の總感であるが以下競技種目別に大要を略述し

見てることとする。

武裝(ゲートル巻)競走は流石土木人だけあつて勝敗は兎角として實にあざやかであり提灯競走は點火して消えぬ様走る所に選手の苦心と興味があり殊に潑刺たる娘子選手が頬を紅潮させての提灯競走は異彩のものであつた。又泥鰌掴み競走の面白味は文字上よりも想像される通り誠に抱腹絶倒に價するものであつた。又封状袋を開いて中の文字により走間に器具を持ち或は身具を着裝してゴールを争ふ封皮競走や自轉車遲乘競走も相當興趣を湧かせた。其他普通走破競争、野球、庭球、卓球、フィールド部の各競技等も元氣一杯走りに走り打ちに打ち、或は投げ或は跳躍した又棋客は園内の休亭含翠園に熱血の棋戦に萬文の氣を吐き筋骨隆々たる若者は土俵上に角技の肉彈戰を展開する等眞に大運動會たるの面目を發揮した。殊に土木課長は流石スポーツマン丈あつて颯爽として大方の競技に出場した事は一同の元氣を彌が上にも昂揚させた又進行係はこの多種目の競技を秩序良く豫定の時間内に終了して一同再び陸上競

技場に整列して閉會式を行つた。陽傾く頃園内の芝生に席を設け懇親會を開催した。ほんとうに時局に相應しいさゝやかなものであつたが土木職員を打つて一丸とする精神的融合上誠に意義深い催しであつた。斯くて土木課長の發聲により 天皇陛下萬歳を奉唱し宮下役員(本課)の發聲により緒方土木課長の萬歳を唱へ乾盃した。今や全世界は擧げて一大轉換期に直面するの時つら／＼古今東西の人類興亡起伏史を通觀すれば尙武の精神に富みたるもの興り然らざるもの亡ぶるは歴々たる鐵則である。茲に悠久二千六百年の鴻業を創始したる我が帝國が大稜威の下磐石不動の國礎を築き國威を中外に輝かし追次八紘一字の成果を收めつゝあるも大和民族が尙武の精神を發輝すべく今日程其の要切なるはない。斯る時心身を鍛練し何時にても武者振ひして立上る體力を養成する必要あるは言を俟たない。本日の運動會が課員の總親和を圖り心からたのしかつたといふ感じが全員の胸に去來した事を信じ併せて體育上時宜に適した企であつた事を喜ぶと共に本大會によつて昂揚された體育

の熱意が日常生活に浸透して不斷の體育活動となりこの企が一層意義付けられる事を念願して本會記を擱筆する。

追言本運動會は埼玉縣土木課工友會及土木協會埼玉支部の主催であり入賞者には若干の賞品を呈した事を附言して置く。

冬 雜 吟

石 路 仙

人の世は人の世にして冬籠り
小鳥呼ぶ唇あれし冬の風
木枯や黒き麥の變電所
凧や覆の枯木伐らすあり
凧や米買ひに出る漁者の妻
凧やひねもす釣りてびく空し
足袋白々灯くらき長廓下
腕白の騒く野道や木枯す
師の説に睡り心や小六月
小春日や何を教師の長談義
閑人や暖爐の前に嬉々として
神を餘所に閑談にふける祭司かな
クリスマスにツリーの枝や鶯鳴